

平成 25 年度 『細江あすなろ作業所』 事業報告書

1. 利用状況

平成 26 年 3 月 31 日の利用状況は以下の通りである。

*利用者の状況 定員 20 名

利用者 19 名 (男 13 名 女 6 名)

○年齢別

年 齢	男性利用者	女性利用者
60代	1	1
50代	3	0
40代	0	2
30代	4	0
20代	3	3
10代	2	0
合 計	13名	6名

平均年齢 36, 1 歳

○程度区分別と住まいの状況

障害程度 区 分	人数	住まいの状況	人数
3	4	自 宅	11
4	11	同法人内ケアホーム	4
5	4	四季の郷	2
6		別法人のケアホーム	1
		別法人の入所施設	1
合 計	19名	合 計	19名

2. 作業状況

年間開所日数 255日

- ①下請作業
- ・エイテック (有) 自動車部品の組み付け
 - ・エステック (有) 自動車部品の組み付け
 - ・ティージー (株) オートバイ部品 (鍵) の組み付け
 - ・丸博 自動車部品の組み付け
 - ・鈴代商店 (株) レトルド食品の袋入れ
 - ・とんきい レトルト食品の袋入れ
 - ・野澤政務調査事務所 機関紙の封筒入れ

企業からの下請け作業に関しては、障害程度区分の重たい利用者や年齢層があがり、集中力が落ちてきた利用者もいて職員が関る箇所が増えてきている。

- ②自主製品
- ・せっけん作り 19回 (固形8回 粉11回)
 - ・ぼかし 8回
- ③その他
- ・アルミ缶の回収

【自主製品の販売】

○販売方法

- ・作業所直販

- ・イベントにての販売

気賀高校ひろおか祭・ふれあい広場・ほのぼのマーケット・農協祭

○委託販売

細江町社協・三ケ日町社協・奥浜名湖商工会・船越造園・咲夢茶店・ささゆりの里

・とんきい・渡辺精肉店

障害者優先調達法に伴い、気賀高校や動物管理指導センター（大山町）などの県の施設や、浜松市立幼稚園からのせっけん注文が徐々に増えてきた。

3. 活動状況

平成 25 年度の活動については、前年度に引き続き日中活動が単調にならないよう、目新しいプログラムを取り入れながら、利用者が楽しめる活動に努めた。

また、年齢の幅もひろがり、若年層にはエネルギーの発散、高年齢層には体力の維持を目的に体力面での支援も行った。

午前は作業活動を行った。個々の能力にあった生産活動の中で作業に必要な集中力や持続力、技術、知識が習得できる支援を行ってきた。しかし、生活介護の事業所を利用する利用者の中には企業からの下請け作業には興味を示さない利用者も見られ、作業を題材とするプログラム設定に難しさも感じた。そのような利用者にはも、散歩を取り入れた。

午後は気分転換、体力づくりを中心に主に散歩とダンスを行ったが、一人ひとり何を提供すれば個々の能力を引き出すことができるのか模索する 1 年でもあった。

- ・月 1 回 インストラクターによるヨガ
- ・月 1 回 インストラクターによるレクダンス
- ・月 1 回 音楽講師による音楽療法
- ・月 1 回 和太鼓の練習
- ・年 1 回 県スポーツ協会による軽スポーツ
- ・年 4 回 カラオケ

ダンスの練習のなかでは、フラガール 3 名を結成しほのぼのマーケットにてデビューした。その後、四季の郷のクリスマス会や地域のなかで 2 回披露した。

来年度は作業所開設の 30 周年にあたるため、記念の発表の場に向けて、利用者が主人公となることを特に意識しての活動を行った。

健康管理面では、体重の増加が目立つなか個々に応じてカロリー控えめの給食の提供してきた。衛生面でも、インフルエンザ、ノロウイルスが流行するなか、手洗いの習慣が少しでも身に着くように重点的に手洗い介助や指導を行ってきた。また、手洗い後のハンカチ・タオル類の衛生にも留意し、毎日清潔なものを持てるよう支援した。

防災に関する意識も引き続き高まる中で、12 月の地域の防災訓練にも参加した。